

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	入居者より聞いた事や入居者について気づいた事を書くノート(個別情報ノート、気づきノートはあるが記入量が少なく上手く活用ができていないため情報共有が不十分である。	入居者についての細かな情報を共有することができる。	ヒヤリハットシートの様式で気づきシートを作成し8月より記載していく。 毎月集計しミーティング等で話し合う事で情報の共有を図っていく。 集計した記録をファイルに綴じ情報ファイルとして閲覧できるようにしていく。	6ヶ月
2	21	楽しく落ち着いた雰囲気を目指して座席配置考えているが入居者間の相性が合わず揉め事につながる事もある。	環境支援指針を活用し環境改善が出来る。	定期的に座席や入居者間の相性について話し合う。 ユニット全体のレイアウトをPEAP(ピープ)を使用しミーティングでの話し合いのもと実施していく。	12ヶ月
3	34	マニュアルを元に勉強会は行っているが新人職員が多い為まだまだ理解不足で認知症ケアの知識も不足している。	全スタッフが認知症ケアを理解し適切な対応ができるようになる。	2か月に1回定期的にユニット職員二人が共同で勉強会の資料作成しフロアミーティングの場で発表してもらい個々の理解度をあげていく。	12ヶ月
4	13	新人研修を期間や方法、業務基準などOJTシステムを作り行っているが上手く育成できていない。	わかりやすい研修方法を確立し実施できることで辞めない職場作りを目指す。	OJTシステムの見直しを行い、実効性のある新人研修マニュアルを作成、実施していく。	12ヶ月
5	35	防災訓練は定期的実施できているが地域との協力体制が整備できていない。	地域に根ざした、また地域での役割を担えるグループホームを作る。	地域との防災協定を結び地域の防災拠点としての役割を果たせせるようにしていく。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。